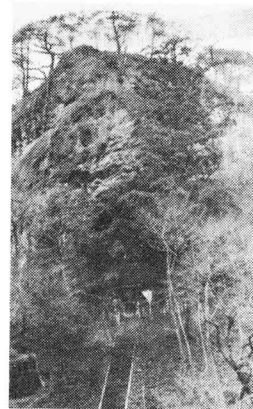


層深まる。

## 山 本 不 動 尊

山本不動尊境内にはキャンプ場もあり，東白川管内の各校の遠足で訪れる機会も多い所で，境内を流れる川で，流水のはたらきが学習できる。



### 1、境内で観察される花こう岩

御尊像をおまつりしている，切り立った山体や境内のがけに見られる岩石は，八溝山系の北縁に当たる基盤岩の一つである花こう岩です。

岩石の表面は，岩石に含まれていた鉄分が酸化して茶褐色を帯びております。

また，露頭に近づいて観察すると，5～8 mm大のスリガラスのような粒が散点しています。それは石英の結晶です。一方，この石英の粒をうめるように，白っぽい不透明な部分が観察されます。それは長石と呼ばれる結晶です。その他，部分的に茶褐色の所がありますが，それは角せん石や黒雲母が風化している所です。この岩石は斑晶質の花こう岩で，中生代の白亜紀末の地殻の大変動の際，貫入してできた岩石です。川原には花こう岩のレキが多く見られます。

### 2、川原のようすと流水のはたらき

#### (1) 調べる場所

キャンプ場前の川

#### (2) 川が見通せる所から，川原の様子や水の流れを観察する。

① 川の全景をスケッチする。

② 川原や小さな中州，川岸のけずら

